

ふく井ホテル

Fukui Hotel
(北海道帯広市)



外観

本日は早朝に東京を出発し、まずは釧路へ。釧路の気温はなんと 17℃。7 月中旬だというのに、東京に比べればすがすがしい空気だ。その後、帯広へ。釧路からわずか 100km あまり離れているだけなのに、帯広は暑い。北海道の気候は多様だ。帯広の街を歩いていると汗がだらだらと出てくる。早く風呂に入りたい。夕刻、そういう思いが頂点に達した。

今回紹介する温泉は、帯広駅前にあるふく井ホテルだ。帯広駅前のビジネスホテルで唯一、モール温泉の源泉かけ流しであるという売り文句にひかれた。

モール温泉とは何か。ふく井ホテルによれば、「「モール」とはドイツ語で湿原(Moor)のことを言い、植物起源の有機質を多く含んだ温泉」であるという。「世界でも 2 ヶ所」しかなく、「ドイツ南西部と日本の十勝地区だけという珍しい植物泉」なのである。モール温泉は、「アイヌたちの「薬の湯」として言い伝えられ、年間約 60 万人のお客様に愛されているという。

温泉は地下 1 階にあり、チェックインからチェックアウトまで利用可能だ。タオルとバスタオルは脱衣室に具備されているため、客室からは手ぶらで温泉へ行ける。脱衣室には使い捨ての髭剃り、シェービングフォーム、整髪剤、ローション、乳液、ヘアブラシ、歯ブラシなどのアメニティグッズも完備。マッサージ椅子は無料で利用できる。脱いだものは籠に入れることになるため、貴重品は客室に置いてきて、部屋のカギはフロントに預けるか、脱衣室前にある無料の貴重品ロッカーを利用しよう。

浴室はシンプル。真ん中に大きな浴槽があり、周囲に洗い場が 22 か所配置されている。洗い場にはボディーソープ、シャンプー、コンディショナーが完備。カランはサーモスタ

ット混合栓で水圧は申し分ない。

浴槽の湯はやや熱め。熱いのが苦手な私は水で薄めながら浸かる。浴槽の定員は 20 人くらいであろうか。浮遊物が漂っているが、これが温泉の成分なのだろう。

おすすめはウェットサウナ。ドライサウナに比べて温度が低いので、ドライサウナが苦手な人でも長時間利用が可能だ。定員は 4 人。室内温度は 60℃くらいであろうか。

帯広駅前には多数のビジネスホテルが乱立するホテル激戦区。その中でも帯広名物のモール温泉を楽しめるホテルを選定することを強くお勧めする。ふく井ホテルは、そんなホテルのうちの一つだ。

ちなみにふく井ホテルの湯はアルカリ性単純温泉（アルカリ性低張性高温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進などに効くという。

明日は東京へ戻る。戻る前に朝風呂に入ろう。そんなことを考えながら、床に就いた。

- **名称**：ふく井ホテル
- **所在地**：北海道帯広市西 1 条南 11 丁目 19
- **電話**：0155-25-1717
- **営業時間**：チェックインからチェックアウトまで
- **定休日**：無休
- **入浴料**：宿泊客は無料
- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2015 年 7 月 17 日（金）、2015 年 7 月 18 日（土）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部